

科目名	メディカルトレーナー演習3							年度	2026
英語科目名	Medical trainer practice 3							学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	柴崎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸接骨院従事者		

**【科目の目的】**

スポーツドクター・医療関係者と連携・協力し、医学の知識を活かしてスポーツライフをサポートするのがメディカルトレーナーです。  
 メディカルトレーナー業務に必要な運動器系の疼痛、スポーツ障害への判断力の構築、その対応手段として解剖学、運動生理学に基づいた徒手療法の習得や運動療法の習得を目的とします。

**【科目の概要】**

メディカルトレーナーに必要な、全体の基礎的なスキルを身につけます。

**【到達目標】**

メディカルトレーナーとして可能な手技によるアプローチに主眼に置き、スポーツ選手へのリハビリ、身体のメンテナンス・ケアを学びます。  
 整体術として基礎的な理論・手技を修得します。  
 A:理論について  
 B:基本手技  
 C:基本実技

**【授業の注意点】**

服装：学校指定ウェア、インシューズ※アクセサリを外して下さい。  
 持物：筆記用具。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標 A	実技と結びついた理解		しっかり理解できる		概ね理解できた
到達目標 B	適切な実技が理論を結び ついて実践できる		適切な実技が実践できる		概ねできる
到達目標 C	適切な実技が理論を結び ついて実践できる		適切な実技が実践できる		概ねできる
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

配布プリント

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

筆記試験・実技試験・平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		メディカルトレーナー演習 3			年度	2026
英語表記		Medical trainer practice 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	整体総論	整体術について	1 整体術とは	J-SETAI の理解ができる	1	
2	身体について	軟部組織の構造	1 軟部組織について	軟部組織を理解できる	1	
3		体幹・つなぎ目の特徴	1 体幹・つなぎ目について	体幹・つなぎ目を理解できる	1	
4	検査	施術前の検査	1 問診	問診ができる	2	
			2 ROM	ROMの検査が理解できる		
			3 伸張短縮痛理論	伸張短縮痛理論が理解できる		
5	基本手技	手・指の基本	1 手・指の使い方	手・指の使い方が理解できる	2	
6		肘の基本	1 肘の使い方	肘の使い方が理解できる	2	
7		姿勢	1 基本姿勢	基本姿勢が理解できる	2	
8		手・指の基本	1 手・指の使い方	手・指の使い方が理解できる	2	
9		肘の基本	1 肘の使い方	肘の使い方が理解できる	2	
10	基本実技	基本的な実技	1 軽擦法	軽擦法ができる	2	
11			2 手掌法	手掌法ができる	2	
			3 脊柱圧	脊柱圧ができる	2	
12			4 揉捻圧	揉捻圧ができる	2	
13			5 平行圧	平行圧ができる	2	
			6 最長筋交叉圧	最長筋交叉圧ができる	2	
14			7 多裂筋コンビネーション圧	多裂筋コンビネーション圧ができる	2	
15			8 腰、臀部のアウトイン	腰、臀部のアウトインができる	2	
			9 全体の通し	全体の通しができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等